

2019 12 月選抜 LS [1202]

受験番号

2019 年度春入学 甲南大学法科大学院

社会人特別選抜入学試験問題

## 専門論文試験

## 憲法・刑法

(120分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は、憲法、刑法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 憲法

### 《第1問》

以下の【事例】を読んで、〔設問1〕〔設問2〕に答えなさい。

#### 【事例】

過疎化が進むY村は、「Y村新総合計画」を策定、実施した。この計画は、Y村全体を「観音の村」、「観音郷」といったイメージで、観光資源にしようとするものである。計画の背景には、高齢者比率の増大と村の産業の衰退があった。Y村の人口は約1000人、高齢者比率約50パーセントである。

計画には、「観音浄土館」の建設が含まれ、その敷地内には、高さ約6メートル、幅約2メートルの大きな観音像が設置された。この観音像のかたちは、伝統的な仏像（特に観音菩薩像）に共通して見られる特徴を有している。そして、Y村は、観音像を制作したA会社に対し、1500万円を支払った（以下、「本件支出」という。）。

また、この計画に従いY村は、「人々から崇められ尊ばれる観音に対する思い入れ、観音浄土への憧れを文化的にかつ現代的に置き直し、観音を感じさせる村づくりをすすめ、Y村観音郷の実現を図っていきます」などと記載した冊子を作成した。

Y村の住民であるXは、本件支出が違法であるとして地方自治法に基づいて住民監査請求をしたが、主張が認められなかった。監査結果の通知の中では、「観音像の建立は宗教行事または宗教的行為が伴わない限り憲法に抵触しない」という、N県の問い合わせに対する旧自治省の「回答」として示された行政解釈（昭和32年）が引用され、「行政団体が宗教を伴わない観光施設として設置したモニュメントについては、憲法違反の問題は生じない」と述べられている。

Xは、地方自治法242条の2に基づき、住民訴訟を提起した。

（注）高齢者比率：65歳以上の高齢者が占める割合。全国平均は約27パーセント。

#### 〔設問1〕

Xは本件支出が憲法違反だと主張しようとしている。その主張はどのようなものとなるか、判例に則して書きなさい。

#### 〔設問2〕

〔設問1〕でなされた主張に対し、Y村側が反論するとすれば、その主張はどのようなものとなるか、書きなさい。

### 《第2問》

法の支配と法治主義の異同について、簡潔に説明しなさい。

## 専門論文試験 刑法

### 《第1問》

以下の【事例】を読んで、Xの罪責について説明しなさい。

#### 【事例】

Xは、公園で、ボールを持った4歳の娘Aを連れた主婦Bが、Aを1人で遊ばせたままベンチに座り、ハンドバッグと買い物籠を傍らに置いた状態で、スマートフォンの操作に夢中になっているのに気が付いた。Xは、しばらくの間、A及びBの様子を窺っていたが、Aが自分の投げたボールを追いかけて、Bからは見通しのできない公園出口付近(Bの座っていたベンチからの距離：約200m)の方まで走っていった後、トイレに入っていくのを視認した。そこで、Xは、Bを騙してハンドバッグを奪ってやろうと思い、Bに近付くと、「つい先ほど、あっちの出口から女の子が飛び出して、事故に遭ったみたいですよ。」と声をかけた。Bは、驚いて辺りを見まわすとAの姿が見当たらなかったため、Aが事故に遭ったのではないかと思い、とっさに立ち上がって、公園出口に向けて2、3mほど駆け出した。しかし、ハンドバッグ等をベンチの上に置いたままであることに気付き、一瞬立ち止まってベンチの方に振り向いたところ、Xから、「見ていますから。」と言われたため、「お願いします。」と言って走りだした。Xは、Bが約15m離れた地点まで走ったところで、すばやくハンドバッグを手にとると、そのまま公園の樹木の間を通り抜け、垣根を越えて走り去った。

### 《第2問》

以下の【事例】を読んで、Xの罪責について説明しなさい。

#### 【事例】

別件で指名手配を受けて逃走中であつたXは、「A」の偽名を用いて就職しようと考え、虚偽の氏名、生年月日、住所、経歴等を記載し、Xの顔写真を貼り付けた押印のある「A」名義の履歴書を作成し、就職希望先の担当者に提出した。